

造 林 事 業 標 準 步 掛 表

平成 2 3 年 6 月

社団法人埼玉県農林公社

目 次

1	地拵歩掛	2
2	新 植	3
(1)	仮植歩掛	3
(2)	植付歩掛	3
3	補 植	4
(1)	植付歩掛	4
4	苗木人肩運搬歩掛（新植、補植共通）	4
5	下刈歩掛	6
6	寒伏歩掛	8
7	寒伏起し歩掛	8
8	薬剤使用歩掛	9
9	獣害防除歩掛	9
10	林地施肥歩掛	9
11	資材運搬（人肩）歩掛	10
12	倒木起し歩掛	10
13	除伐歩掛	11
14	つる切り歩掛	11
15	枝打歩掛	12
16	機械人力併用林内刈払い歩掛	13
17	間伐歩掛	13
18	防火線手入歩掛	14
19	歩道新設	14
20	歩道補修	15
21	栈橋新設	15
22	遠距離作業地の補正	17
23	参考	18

造 林 事 業 標 準 歩 掛 表

1 地拵歩掛

(1 ha 当たり)

地 拵 素 地	内 容 区 分	普通作業員	備 考
伐 採 跡 地 (スギ・ヒノキ等)	伐 採 後 3年	27.00人	
	〃 2	23.00	
	〃 1	20.00	
伐 採 跡 地 (ザ ツ)	伐 採 後 3年	30.00	
	〃 2	25.00	
	〃 1	20.00	
原野・散生地	改 植 地 等	25.00	
雑 木 ・ 竹 等	31年生以上 (径20～30)	55.00	
	21～30年生 (径15～20)	50.00	
	11～20年生 (径10～15)	40.00	
	3～10年生	35.00	
巻 枯 し	10本当たり	1.00	

- (注) 1. 伐採後3年とは、伐採後^{ふたなつ}二夏を経過した箇所をいう。
 2. 伐採後2年とは、伐採後^{ひとなつ}一夏を経過した箇所をいう。
 3. 伐採後1年とは、夏を経過したことの無い箇所をいう。
 4. この歩掛は、枝条梢端木の片付けを含む。
 5. この歩掛は、刈払を含む。
 6. 伐採跡地とは、全面積伐採の跡地をいう。
 7. 巻枯しは、直径がおおむね30cm以上のものを対象とする。

ア 植生の繁茂状況による補正 下表の数値を乗じる

区 分	少 (疎)	中	多 (密)
補 正 係 数	0.80～0.95	1.00	1.10～1.20

イ つる類に対する補正 下表の数値を乗じる

区 分	少	中	多
補 正 係 数	1.05	1.10	1.15

- 区分 { 少：林地の20%以上30%未満がつるにおおわれている状態。
 中：林地の30%以上50%未満がつるにおおわれている状態。
 多：林地の50%以上がつるにおおわれている状態。

2 新 植

(1) 仮植歩掛

(1,000本当たり)

樹 種	苗木規格	1人1日当たり 仮 植 本 数	普通作業員	備 考
スギ・ヒノキ	45cm 以上	1,500 本	0. 6 7 人	
〃	45cm 未満	2,000	0. 5 0	
カラマツ・アカマツ	35cm 以上	2,000	0. 5 0	

(注) サワラについては、スギ・ヒノキの歩掛を適用する。

(2) 植付歩掛

(1,000本当たり)

樹 種	苗木規格	1人1日当たり 植 付 本 数	普通作業員	備 考
ス ギ	60cm	140 本	7. 1 4 人	
	45	160	6. 2 5	
	35	180	5. 5 6	
ヒ ノ キ	60	160	6. 2 5	
	45	190	5. 2 6	
	35	220	4. 5 5	
カラマツ	45 ~	220	4. 5 5	
アカマツ	35 ~	350	2. 8 6	

(注) サワラについては、ヒノキの歩掛を適用する。

林床状態による補正

下表の数値を乗じる

区 分	易	中	難
補 正 係 数	0. 9 0 ~ 0. 9 5	1. 0 0	1. 1 0 ~ 1. 2 0

区分 { 易：土壌が硬い。笹類萱等の根が多い。礫が多い。
 中：易と難の中程度。
 難：土壌が軟らかい。笹類萱等の根が少ない。礫が少ない。

3 補植

(1) 植付歩掛

(1,000本当たり)

樹種	苗木規格	1人1日当たり 植付本数	普通作業員	備考
スギ	45cm以上	110本	9.09人	
ヒノキ	60	110	9.09	
	45	130	7.69	
カラマツ	45cm以上	140	7.14	

(注) 仮植、植付補正は、新植を準用する。

4 苗木人肩運搬(新植、補植共通)

(1) 樹種別1人1日当たり運搬量

樹種	苗木規格	数量	備考
スギ	60cm	140本	
	45	150	
	35	180	
ヒノキ	60	150	
	45	200	
	35	250	
カラマツ・アカマツ	35～	400	

(2) 1日当たり苗木運搬回数

距離	回数	距離	回数	距離	回数
100m以下	100回	1,000m以下	10回	1,900m以下	5回
200	50	1,100	9	2,000	5
300	33	1,200	8	2,500	4
400	25	1,300	7	3,000	4
500	20	1,400	7	3,500	3
600	16	1,500	6	4,000	3
700	14	1,600	6	4,500	2
800	12	1,700	6	5,000	2
900	11	1,800	5	5,001～	1

(3) 樹種別苗木運搬 (人肩)

(1,000 本当たり)

樹種 規格 距離(m)	スギ			ヒノキ			カラマツ アカマツ
	60	45	35	60	45	35	35~
100 以下	0.07 人	0.07 人	0.06 人	0.07 人	0.05 人	0.04 人	0.03 人
200 "	0.14	0.13	0.11	0.13	0.10	0.08	0.05
300 "	0.22	0.20	0.17	0.20	0.15	0.12	0.08
400 "	0.29	0.27	0.22	0.27	0.20	0.16	0.10
500 "	0.36	0.33	0.28	0.33	0.25	0.20	0.13
600 "	0.45	0.42	0.35	0.42	0.31	0.25	0.16
700 "	0.51	0.48	0.40	0.48	0.36	0.29	0.18
800 "	0.60	0.56	0.46	0.56	0.42	0.33	0.21
900 "	0.65	0.61	0.51	0.61	0.45	0.36	0.23
1,000 "	0.71	0.67	0.56	0.67	0.50	0.40	0.25
1,100 "	0.79	0.74	0.62	0.74	0.56	0.44	0.28
1,200 "	0.89	0.83	0.69	0.83	0.63	0.50	0.31
1,400 "	1.02	0.95	0.79	0.95	0.71	0.57	0.36
1,700 "	1.19	1.11	0.93	1.11	0.83	0.67	0.42
2,000 "	1.43	1.33	1.11	1.33	1.00	0.80	0.50
3,000 "	1.79	1.67	1.39	1.67	1.25	1.00	0.63
4,000 "	2.38	2.22	1.85	2.22	1.67	1.33	0.83
5,000 "	3.57	3.33	2.78	3.33	2.50	2.00	1.25
5,001 ~	7.14	6.67	5.56	6.67	5.00	4.00	2.50

- (注) 1. 普通作業員を適用する。
 2. 距離は高低差 1 mにつき 6 m加算する。
 3. 高低差は等高線図により求める。
 4. 距離は地図上より求める。
 5. 距離の算定は車道より現場の中央地点とする。

$$(\text{高低差} \times 6 \text{ m}) + \text{水平距離} = \text{運搬距離}$$

5 下刈歩掛

(1) 人力下刈歩掛

本歩掛は、岩石地等で刈払機が使用できない下刈施行地に適用する。

(1 ha 当たり)

林 齢	1回目 (普通作業員)	2回目 (普通作業員)	備考
1年生	7.00人	7.00人	
2～3年生	11.00	9.00	
4～8年生	10.00	9.00	
ササ生地	13.00	—	2m未満クマザサ等

- (注) 1. 1回刈及び2回刈の1回目については「1回目」欄を適用し、2回刈の2回目については「2回目」欄を適用する。
 2. 林齢は植栽年度を基準とする。
 3. 植生の繁茂状態により9年生以上の下刈を必要とする場合は、9.50人(普通作業員) / haを標準とする。

ア 植生の繁茂状態による補正

下表の数値を乗じる

区 分	少(疎)	中	多(密)
補正係数	0.80～0.95	1.00	1.05～1.20

イ つる類に対する補正

下表の数値を乗じる

区 分	少	中	多
補正係数	1.05	1.10	1.15

- 区分 { 少：林地の20%以上30%未満がつるで覆われている状態。
 中：林地の30%以上50%未満がつるで覆われている状態。
 多：林地の50%以上がつるで覆われている状態。

(2) 機械人力併用下刈歩掛

本歩掛は、刈払機を使用する下刈施行地に適用する。

(1 ha 当たり)

回数 林 齢	1 回 目 (普通作業員)			2 回 目 (普通作業員)		
	機 械	人 力	計	機 械	人 力	計
1 年生	1.87 人	5.19 人	7.06 人	1.87 人	5.19 人	7.06 人
2～3 年生	2.36	6.52	8.88	1.93	5.34	7.27
4～8 年生	2.15	5.93	8.08	1.93	5.34	7.27
ササ生地	2.73	8.45	11.18	—	—	—

- (注) 1. 1 回刈及び 2 回刈の 1 回目については「1 回目」欄を適用し、2 回刈の 2 回目については「2 回目」欄を適用する。
 2. 林齢は植栽年度を基準とする。
 3. 植生の繁茂状態により 9 年生以上の下刈を必要とする場合は、機械下刈 2.00 人 (普通作業員) / ha、人力下刈 6.17 人 (普通作業員) / ha を標準とする。
 4. 機械刈分については、刈払機損料、燃料費を別途計上する。

つる類に対する補正

下表の数値を乗じる

区 分	少	中	多
補 正 係 数	1.10	1.20	1.30

(注) 機械刈分、人力刈分ともこの表により補正する。

- 区分 { 少：林地の 20% 以上 30% 未満がつるで覆われている状態。
 中：林地の 30% 以上 50% 未満がつるで覆われている状態。
 多：林地の 50% 以上がつるで覆われている状態。

6 寒伏歩掛

(1 ha 当たり)

林 齢	1人1日量	普通作業員	備 考
1～2年生	400本	6.25人	
3年生	300	8.33	

ア 地山傾斜による補正

下表の数値を乗じる

区 分	11度以上 20度未満	20度以上 35度以下	10度未満又は 35度超
補正係数	0.90	1.00	1.20

イ 本数による補正

本歩掛は1 ha 当たり 2,500本を標準としているので対象本数により補正すること。

(例) 1～2年生 2,800本の場合

$$\frac{2,800 \text{ 本}}{400 \text{ 本 (日/人)}} = 7.00 \text{ 人}$$

7 寒伏起し歩掛

(1 ha 当たり)

林 齢	1人1日量	普通作業員	備 考
2～3年生	900本	2.78人	
4年生	700	3.57	

(注) 傾斜難易度及び本数による補正は寒伏を準用する。

8 薬剤使用歩掛

区 分	1人1日量	普通作業員	備 考
クズノック	16 kg	6.25人	100kg 当たり
フレノック	12	8.33	〃
ゲルバー	12	8.33	〃
塩素酸塩類	12	8.33	〃
ザイトロン	16	6.25	〃
ケイピン	250本	4.00	1,000本 当たり
リンチエース	100	10.00	〃

9 獣害防除歩掛

(1,000本 当たり)

区 分	1人1日量	普通作業員	薬剤量	備 考
ヤシマレント	860本	1.16人	1,200g	1本 当たり 1.2g を標準とする。
コニファー水和剤	860本	1.16	5L	4倍希釈を標準とする。

- (注) 1. 現場の状況により、工程を10%増減することができる。
 2. 現場の状況により、薬剤量を増減することができる。
 3. コニファー水和剤の使用量は、上記薬剤量に水の量を加えた量とする。
 (例) 4倍希釈 3,000本実施の場合
 $(\text{薬剤量 } 5\text{L} \times 3) + (\text{水の量 } 15\text{L} \times 3) = \text{使用量 } 60\text{L}$ となる。
 4. コニファー水和剤は、現場の状況により、3倍及び5倍希釈とすることができる。

10 林地施肥歩掛

(100kg 当たり)

区 分	1人1日量	普通作業員	備 考
根部上方	20.00 kg	5.00人	林齢1～7年生
林内ばらまき	60.00	1.67	林齢8年生以上

1.1 資材運搬（人肩）歩掛

(100kg 当たり)

距離 (m)	普通作業員	距離 (m)	普通作業員
100 以下	0.03 人	1,100 以下	0.28 人
200 "	0.05	1,200 "	0.31
300 "	0.08	1,400 "	0.36
400 "	0.10	1,700 "	0.42
500 "	0.13	2,000 "	0.50
600 "	0.16	3,000 "	0.63
700 "	0.18	4,000 "	0.83
800 "	0.21	5,000 "	1.25
900 "	0.23	5,000 ~	2.50
1,000 "	0.25		

- (注) 1. 本表は苗木を除く資材運搬に適用する。
 2. 距離は苗木運搬 4-(3) の注意書きを準用する。

1.2 倒木起し歩掛

(1,000 本当たり)

樹高	1人1日量	普通作業員	備考
2.5 m未満	200 本	5.00 人	
2.5 m以上 4.0 m未満	150	10.00	
4.0 m以上	50	20.00	

- (注) 材料は樹高に応じ次表を標準とする。

樹高	数量	材料	備考
2.5 m未満	2.0 m/本	木起しテープ	
2.5 m以上 4.0 m未満	5.0	"	
4.0 m以上	7.0	木起しロープ	

1.3 除伐歩掛

(1) 人力除伐歩掛

本歩掛は、岩石地等で刈払機が使用できない除伐施行地に適用する。

(1 ha 当たり)

作業区分	普通作業員	備 考
難	30.00人	
中	20.00	
易	13.00	

(注) 本歩掛は、植生の刈払を含むものである。

区分 { 難：主林木以外の林内植生の内、木本類が80%以上占めている。
 中：主林木以外の林内植生の内、木本類が40%以上占めている。
 易：主林木以外の林内植生の内、木本類が40%未満。

林内密度による補正

下表の数値を乗じる

区 分	疎	中	密
補 正 係 数	0.90~0.95	1.00	1.10~1.20

(2) 機械人力併用除伐歩掛

本歩掛は、刈払機を使用する除伐施行地に適用する。

(1 ha 当たり)

作業区分	機械(普通作業員)	人力(普通作業員)	計	備 考
難	6.30人	19.50人	25.80人	
中	4.20	13.00	17.20	
易	2.70	8.50	11.20	

(注) 1. 本歩掛は、植生の刈払を含むものである。

区分 { 難：主林木以外の林内植生の内、木本類が80%以上占めている。
 中：主林木以外の林内植生の内、木本類が40%以上占めている。
 易：主林木以外の林内植生の内、木本類が40%未満。

2. 機械刈分については、刈払機損料、燃料費を別途計上する。

1.4 つる切り歩掛

(1 ha 当たり)

つるの繁茂状況	普通作業員	備 考
60%以上	8.00人	
30%以上60%未満	7.00	
30%未満	6.00	

(注) 本歩掛は薬剤による枯殺に適用しない。

1 5 枝打歩掛

(100 本当たり)

樹種	枝打高 (m)	1.2	1.5	1.8	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	6.0	6.5	7.0	8.0	9.0
	作業前の高さ (m)													
スギ	0	0.42 ^人	0.48 ^人	0.53 ^人	1.61 ^人	1.69 ^人	1.79 ^人	1.96 ^人	2.13 ^人	2.50 ^人	2.68 ^人	2.86 ^人	3.22 ^人	3.28 ^人
	0.3			0.48										
	1.2			0.42	1.28	1.37	1.45	1.61	1.79	2.08	2.26	2.44	2.77	3.10
	1.5				1.20	1.28	1.37	1.54	1.69	2.00	2.19	2.38	2.72	3.06
	1.8				1.12	1.20	1.30	1.47	1.64	1.96	2.14	2.33	2.67	3.01
	3.0						1.12	1.28	1.45	1.79	1.96	2.13	2.47	2.81
	3.5							1.20	1.39	1.72	1.88	2.04	2.38	2.72
	4.0								1.32	1.67	1.83	2.00	2.34	2.68
	4.5									1.61	1.78	1.96	2.31	2.66
	5.0										1.74	1.92	2.27	2.62
ヒノキ	0	0.53	0.62	0.70	1.92	2.04	2.13	2.38	2.63	3.03	3.24	3.45	3.88	4.31
	0.3			0.62										
	1.2			0.53	1.49	1.59	1.69	1.89	2.08	2.50	2.72	2.94	3.37	3.80
	1.5				1.39	1.49	1.59	1.79	2.00	2.38	2.62	2.86	3.29	3.72
	1.8				1.30	1.41	1.52	1.72	1.89	2.33	2.55	2.78	3.21	3.64
	3.0						1.28	1.49	1.69	2.13	2.34	2.56	2.99	3.42
	3.5							1.41	1.61	2.04	2.27	2.50	2.93	3.36
	4.0								1.54	1.96	2.26	2.44	2.87	3.30
	4.5									1.89	2.13	2.38	2.81	3.24
	5.0										2.08	2.33	2.76	3.19

※ 普通作業員を適用する。

1.6 機械人力併用林内刈払い歩掛

(1 ha 当たり)

機械（普通作業員）	人力（普通作業員）	計	備考
1.70人	5.20人	6.90人	

- (注) 1. 本歩掛は、枝打、間伐等の実施にあたり、林内の雑草木を刈払う必要がある場合に適用する。
 2. 機械刈分については、刈払機損料、燃料費を別途計上する。

1.7 間伐歩掛

選木歩掛

(100本当たり)

名称	単位	数量
特殊作業員	人	0.21
普通作業員	人	0.21

備考 1 間伐対象木の選木、表示を行う

伐倒歩掛

(100本当たり)

名称	単位	平均胸高直径				
		10cm未満	10cm以上 16cm未満	16cm以上 22cm未満	22cm以上 28cm未満	28cm以上
特殊作業員	人	0.23	0.32	0.42	0.52	0.63
普通作業員	人	0.23	0.32	0.42	0.52	0.63
諸雑费率	%	6	6	6	6	6

- 備考 1 伐倒木を地面に引き落とす工程及び倒木の移動を抑える程度までの枝払いを含むものとする。
 2 諸雑費は、チェーンソーの損料、燃料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。
 3 平均胸高直径は、対象林分全体の直径平均とする。

巻き枯らし歩掛（剥皮）

(100本当たり)

名称	単位	平均胸高直径				
		10cm以上 12cm未満	12cm以上 14cm未満	14cm以上 16cm未満	16cm以上 18cm未満	18cm以上 20cm未満
普通作業員	人	0.8	1.0	1.3	1.5	2.0

備考 1 鉋鎌等の損料として人件費の1%を別途計上する。

18 防火線手入歩掛

(100 m当たり)

幅員	普通作業員	備考
3 m以上 4 m未満	1. 28人	
4 " 5 "	1. 60	
5 " 6 "	2. 00	

- (注) 1. 本歩掛は刈払後隣接林地への除去、地表整理を含む。
 2. 新設する場合は、掘起し(20～30人/100m)と刈払除去(地拵の20%増)とする。

19 歩道新設

(1) 人力施工の場合

(100 m当たり)

幅員	地山勾配	掘削土量	普通作業員		備考
			土砂	軟岩	
0.5 m	30°	13 m ³	2.60人	5.20人	
	25	9	1.80	3.60	
	20	3	0.60	1.20	
	10	1	0.20	0.40	
1.0 m	30	50	10.00	20.00	
	25	38	7.60	15.20	
	20	6	1.20	2.40	
	15	4	0.80	1.60	
	10	2	0.40	0.80	

(2) 機械施工の場合

(100 m当たり)

幅員	機種	地山勾配	掘削土量	1時間当たり土工量	稼働時間	備考
1. 5 m └ 1. 8	ブルドーザ 3 t級	30° 以下	40 m ³	m ³ /h	2.7 時間	
		25°	30	15	2.0	
		15°	20		1.3	
		10°	10		0.7	

- (注) 1. 現地条件により軽自動車の通行が可能な「軽車道兼用歩道」を設置する場合に適用する。
 2. ブルドーザ運搬費を別途積上げること。
 3. 軟岩割合の多少により20%を上限に本表稼働時間を補正することができる。
 4. 本表は切土、盛土の均衡をとった断面が基準となっている。

2.0 歩道補修

- (1) 路面整理（崩落土砂の除去等）歩掛
 土砂（ルーズな状態）10 m³ 当たり 1.10 人（普通作業員）とする。
 (2) 雑草木刈払歩掛
 100 m 当たり 0.30 人（普通作業員）を標準とする。ただし、雑草木の繁茂状況により20%増減することができる。
 [参考] 刈払 15 人（普通作業員）/ ha
 刈払幅 2.0 m × 100 m = 0.02 ha

2.1 栈橋新設

- (1) 栈橋材伐木造材歩掛

(4.0 m 当たり)

樹種	1人1日量	木材量	普通作業員	備考
スギ・ヒノキ	2.0 m ³	0.19 m ³	0.10 人	
ザツ	1.0	0.28	0.28	

(2) 栈橋材(丸太)小運搬歩掛

(4. 0m当たり)

運搬距離	樹種	1回当たりの工程	1日当たりの運搬回数	1日当たりの数量	木材量	普通作業員	備考
100m以下	スギ ヒノキ	0.11 m3	15回	1.65 m3	0.19 m3	0.12人	
	ザツ	0.08	15	1.20	0.28	0.23	
300	スギ ヒノキ	0.11	10	1.10	0.19	0.17	
	ザツ	0.08	10	0.80	0.28	0.35	
500	スギ ヒノキ	0.11	6	0.66	0.19	0.28	
	ザツ	0.08	6	0.48	0.28	0.58	
1,000	スギ ヒノキ	0.11	3	0.33	0.19	0.58	
	ザツ	0.08	3	0.24	0.28	1.17	

(3) 栈橋架設歩掛

(4. 0m当たり)

作業種	普通作業員	備考
組立て取付固定等	2.50人	

- (注) 1. 取付部2.0m整地(0.50人)を含む。
2. 地形等により50%増減できる。

2.2 遠距離作業地の補正

(下表の数値を乗じる)

距離 (片道)	補正値	備考
1,500 以下	1.00	
2,000 "	1.15	
2,500 "	1.19	
3,000 "	1.23	
3,500 "	1.28	
4,000 "	1.32	
4,500 "	1.36	
5,000 "	1.40	
5,500 "	1.44	
6,000 "	1.48	

(注) 本表は次の基準により作成したものである。

① 距離は車道より、徒歩による作業地まで。(作業地の中央地点)

$$\text{距離} = \text{図上水平距離} + \text{高低差} \times 6 \text{ m}$$

② 徒歩速度は時速3 km とする。

③ 労務時間を1日8時間とし、徒歩所要時間を労務量に換算する。1 km 当たり所要時間20分とし、距離は中間値を使用する。

(例) 2,000 m までは 1,800 m、2,500 m までは 2,300 m

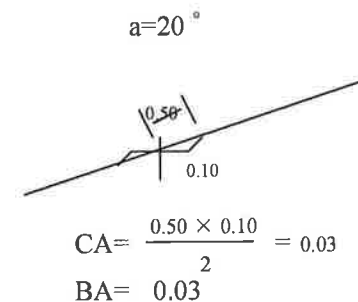
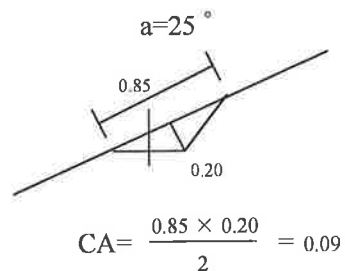
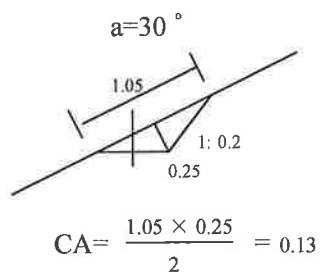
2.3 参考

1. 除草薬剤

薬剤名	1 ha 当たり数量	使用時期	備	考
クズノック	80 kg	6月～ 7月	クズに効果あり	DPAテトラピオン粉剤
フレノック	30 kg	10月～12月	ササ、ススキ等のイネ科植物に効果あり	テトラピオン粒剤
ゲルバー	100 kg	10月～ 3月	クズ、ススキに効果あり	トリクロル酢酸カルシウム粒剤
塩素酸塩類	100 kg	4月～ 7月	ササ、ススキ等のイネ科植物に効果あり	塩素酸ソーダ粒剤
ザイトロン	100 kg	5月～ 8月	クズ、広葉かん木等に効果あり イネ科植物には効果なし	トリクロピルを主成分とする粉剤
ケイピン		通 年	クズ等つる性植物に効果あり、ただし アケビ、ヤマブドウには効果が劣る	ピクロラムを主成分とする木針状薬剤 資材小運搬は見込まない
リンチエース		10月～ 2月	切株処理用の薬剤として使用 1,000本当たり20kgを標準とする	リンチエース水和剤（主成分スルファミン酸アンモニウム）を使用する 1,000本当たり20kg使用

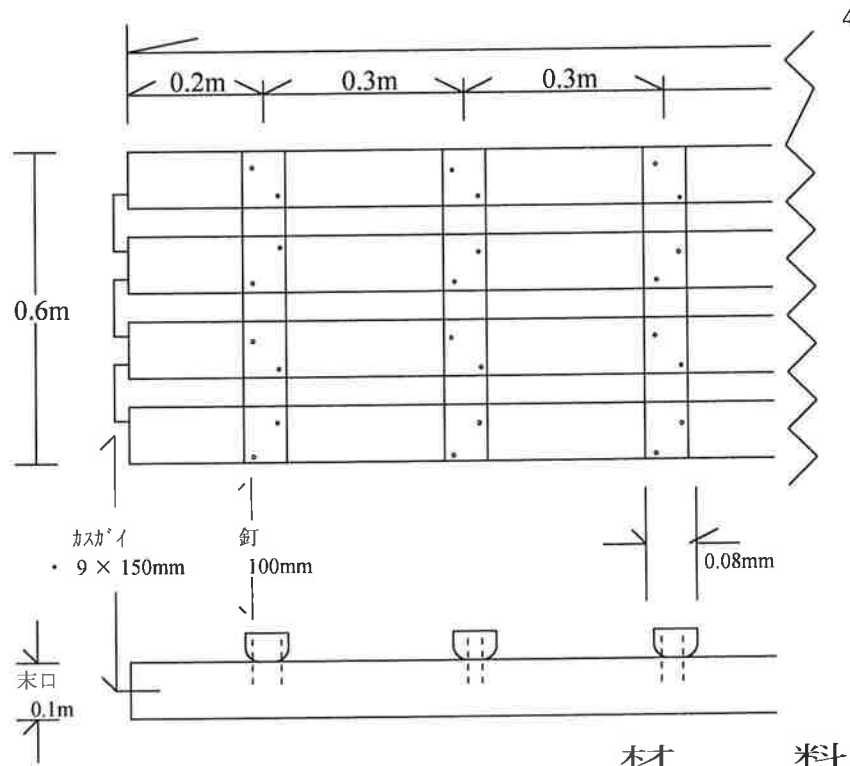
2. 歩道新設標準横断面

(1) W=0.5mの場合



3. 栈橋新設

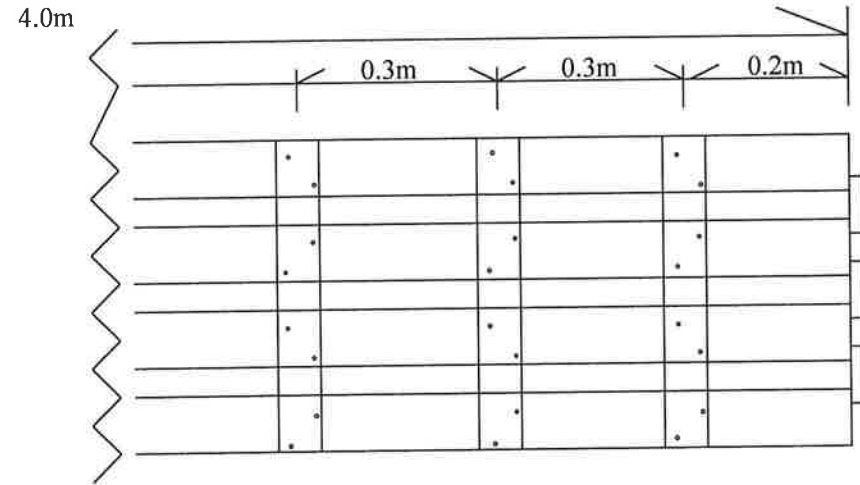
栈橋定規図



材 料

スギ、ヒノキ丸太材使用 (4.0m当たり)

名 称	規 格	数 量	備 考
桁	長さ 4.0m 末口径 10cm	0.16 m ³	
横 木	長さ 60cm 径 8cm 2つ割り	0.03 m ³	
カスガイ	・ 9mm × 150mm	12 本	
釘	長さ 100mm	96 本	



表

広葉樹（ザツ）丸太材使用 (4.0m当たり)

名 称	規 格	数 量	備 考
桁	長さ 4.0m 末口径 12cm	0.24 m ³	
横 木	長さ 60cm 径 10cm 2つ割り	0.04 m ³	
カスガイ	・ 9mm × 150mm	12 本	
釘	長さ 100mm	96 本	